



2009-2010年度RIテーマ

# 国際ロータリー第2790地区

## 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

<b>創立</b>	1964年3月2日	<b>例会日</b>	毎金曜日12時30分	<b>例会場</b>	オークラ千葉ホテル
<b>会長</b>	寺澤 一良	<b>幹事</b>	五十嵐 博章	<b>雑誌会報委員長</b>	佐久間 信一
<b>事務局</b>	〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1トーシン千葉ビル7階			TEL 043-245-3204	

2010年1月第3週号

### 第2252回



平成22年1月22日(金) 点鐘12:30(晴れ)

- \*ロータリーソング 『手に手つないで』
- \*四つのテスト ~言行はこれに照らしてから~
  1. 真実か どうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるか どうか

#### \*お客様紹介

本日のゲストスピーカー / NPO法人都川の環境を考える会 会長 武部 功様

#### 《会長挨拶及び報告》 寺澤 一良会長

ホームページをご覧頂けましたでしょうか。

週報は、PDF変換して10月の第1例会の週報から掲載しました。千葉市の観光協会から、高橋朗IT・雑誌委員長経由で、ポートタワーの写真を掲載させて頂きましたが、千葉市観光協会のホームページにリンクさせて頂いています。

これにより今まで気軽に週報に載せていた理事会報告と出席報告は、広報と言う概念から簡単に掲載できないのではないかと思います。更に今まで週報を印刷して配布していましたが、半年から1年分の週報がホームページ上で何時でも見ることが出来ますので、印刷物として配布する必要のない会員もいらっしゃると思います。

この理事会報告の掲載、出席報告の掲載、週報配布を希望しない人の3点を次の理事会の議題としたいと思います。

今日は先輩会員でもご存知ないだろうと思う事をご紹介致します。

ロータリー文庫運営委員会委員長から送られてきた資料によると、皆さんもご存知のことは、戦前のロータリークラブは1940-41年にRIから1度脱会しているのですが、戦前の日本の全ロータリークラブは37クラブあったのだそうです。勿論、米山奨学金の創設者の米山梅吉1920年(大正9)に東京ロータリークラブを創設したのが最初

である事は言うまでもありません。又、戦前には千葉には有りませんでした。戦後、再開したのは昭和24年で、千葉県では千葉市で千葉ロータリークラブが最初ですが、日本全国では59番目でした。

千葉市では、千葉南ロータリークラブは2番目の伝統に輝いているのですが、県内では残念ながら22番目でした。当然、日本全国では593番目で、東京ロータリークラブが戦後再認証されたのが昭和24年ですら、千葉ロータリークラブが昭和26年に認証を受け2年後で59番目、千葉南ロータリークラブ昭和39年ですから遅れること15年でした。この昭和39年は東京オリンピックが開催された記念すべき年でした。

15年間で年間39.5クラブ増えていますし、その後の平成21年5月の中部名古屋みらいロータリークラブの認証まで45年間で2351番目になっていますから、年間39クラブ増えていることになり、千葉南ロータリークラブが認証をされる前と後とは、増えたロータリークラブの数は殆ど同じスピードとなります。

名称変更したロータリークラブが150クラブあり、県内では横芝ロータリークラブが成田空港南ロータリークラブになっております。又、私も最近までは合併は出来ないものと思っていましたが、全国で24クラブが合併して12クラブになっております。

これら脱会と合併によって、日本のロータリークラブの数は50クラブが減って、現在は2301(2009年6月末現在)クラブとなるそうでございます。

以上、話題の足しになるかと思ひまして、ロータリーの歴史の一部をご紹介して、今日の会長挨拶と致します。

#### 《幹事報告》 五十嵐 博章幹

次週の例会は、懇親夜例会(点鐘18時)です。お間違えないよう宜しくお願い致します。

#### 《ニコニコボックス報告》

##### ☆寺澤 一良会員・五十嵐 博章会員

武部様、ようこそいらっしゃいました。卓話を楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

##### ☆北原 俊彦会員・竹尾 白会員

武部さん、今日の卓話、宜しくお願い致します。支川都川は武部さんの長年の努力で鮎が群れています。こ

れからも宜しくお願い致します。

### ☆竹尾 白会員

12月26日、仕事上で転落し、右腕尺骨にヒビが入り、1月6日に金(金の板)を入れるため固定手術を行い現在に至っております。

本日のニコニコボックス	4,000 円	累計	432,314 円
金の箱	660 円	累計	20,280 円

### 《出席報告 (会員数43名)》

今関		川口		塩谷		花澤	欠
五十嵐		北原		末吉	欠	橋口	欠
伊藤		国友		鈴木・美		畠山	欠
植松		小塚	欠	瀬谷		原田	欠
太田		小林	欠	竹尾		本田	欠
大野		向後	欠	高橋		松尾	欠
小野		澤本		土屋		丸島	
川合		榊原		寺澤		水野	
金親	欠	斎藤・昌		出井		野城	
金田		佐久間		中沢		吉田裕	
栢木		鮫島	欠	野本			
出席 31名 欠席 12名 <b>ビシター</b> 1名 <b>修正出席率</b> 82.93%							

### 千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい](#)

千葉RC	月	2/15	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	2/16・23	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	2/16	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	2/17	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	2/3・24	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	2/18	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	2/4・25	京成ホテルミラマーレ

### \*\*本日の卓話\*\*

演 題…『都川の環境』  
 卓話者…NPO法人都川の環境を考える会  
 会長 武部 功様



皆さま、こんにちは。こういう場所でお話する機会は一度もありませんでした。美味しいお食事を戴いたのですが、今、足がガクガクしてすっかり上がってしまって何を話していいか分かりません。聞き苦しいところや、また、言葉遣

いが悪かったり、乱暴な物言いがあるとは思いますが、ご容赦頂きましてしばらくお付き合い下さい。

私は、昭和60年に市川市から千葉市に引っ越してまいりました。市川に真間川という川があり、そこには桜並

木があって春先は大変綺麗なところですが、ただ、川が非常に汚いです。そのようなところでもフナが釣れていたのです。千葉に越してきて、川があるからちょっと釣りでしてみようじゃないかということで、釣りに行ったら、15cmぐらいのフナが釣れました。ところがその魚は、魚の匂いがしないでヘドロの匂いがするのです。釣り糸が、ヘドロに絡んで2.3回やっていると真っ黒になってしまうのです。これはしょうがない、川なんてそんなものなのかなと思っていました。

都川は、京葉道路から二手に分かれています。主流で鎌取の方が上流部になっていますが、そちらの方を一年間歩いてみましたら非常に環境が良いんですね。歩いている内にこの川は少し手を加えれば綺麗になるのではないかと思い、61年から一人で長靴を履いて川の中に入ってゴミ拾いをしました。その当時のゴミは並大抵のゴミではないのです。大型の家電から、布団、ベッド、酷い時には墓石まで落ちていることがありました。家庭用品で、ありとあらゆるものがありました。川の中で生活が出来ぐらいです。唯一拾った事がないものは、現金と死体です・・・。

一生懸命やっている内に、千葉市からCNCプラン(チャレンジズ都川クリーンナッププラン)という名前だけは洒落た名前をつけて、川を綺麗にしようじゃないかということで予算をつけてもらいました。しかし、何をやるか、役所の方でも分からないのです。しばらくの間、一人で水の中に入ってゴミ拾いをしました。その内に、平成14年頃、緑化植物園があるところの橋の上から川を見ていたら、鮎が真っ黒な群れになって泳いでいるのです。それを見た時にはと肌肌が立つぐらい嬉しくなって、掃除してきたかいがあったなと思いました。それからはのめり込むようになり現在に至っています。最初のうちは、川の中に入ってドロドロになってやっているわけですから、この汚い川に入って何をやっているのだろうということで奇人変人扱いでした。そんな具合で長く続けたおかげで、県で使わなくなった施設を我々の拠点として借りています。県も市も我々に協力的にやってくれますので、これからは大々的に活動が出来るのではないかなと思います。

会はどのような活動をしているのかといいますと、メインは川のゴミを除去して川が持つ本来の浄化能力を復活させる手伝いをすることです。それさえすれば自然は向こうから戻ってくるということを念頭においてやっています。石を入れたり砂を入れたりすることをやみくもにやるのではなくて、拾い上げたゴミの量だけを入れる。そうすると川のキャパシティ、水の容量は変わらないのです。ですから、現状の川の流れを維持できるという事を念頭においてやっています。

昔と比べたら大分少なくなりましたが、川のまわりには不法投棄が非常に多いです。そういう不法投棄の物を回収して、そこを花壇にしたり、元に戻したりしています。また、少しでも道行く人を楽しんで頂けたらいいかなと思います。桜並木の造成や低木の花木の苗を植えたり、斜面に水仙の球根を植えたり、彼岸花を植えたりしています。しかし、残念なことに花が咲くとすぐに持って行くというモラルの低い人がいるのです。そこは我慢して継続は力な

りやっけていくしかないなと思っています。

小学生を対象に年に一回、「アドベンチャー都川」を「丹後堰公園」で行います。これは我々が子供の頃、川で遊んだり色々なことをした楽しさを今の子供に知ってもらおうということで、川の中に入って魚を釣ったり、網ですくったり、お昼ご飯を自分たちで作ったり、わた飴を食べさせたりと色々なことをやっております。少しでも、それについてくる親とお子さんが一緒になって川に親しんでくれれば今後の為にはいいのではないかなと思っています。学校相手として、年に2回総合学習という時間があるのですが、これは、小学校5年生がメインでやっていて、大体今、一学年で少ない所で40名ぐらい、多い所で100名ぐらいですが、学年ごとに場所をグループに分けて川に入れるのです。そこで石を動かしてみてもどんな生物がいるか、どんな水草が生えているかを体験してもらっております。最初は、嫌がって入らない子も、しまいには上がれと言っても上がってこないですね。そこは駄目だよと言う場所に皆でそっちへ行く、上手く誘導すると子供は喜々として同じことをやっているのを見て、こっちの方が楽しくなります。

水質検査と生態調査をメンバーが交代で7カ所を毎月2回、定期的に行っています。最近では、季節変化も日中の時間帯変化も殆どなくなりました。それだけ川が安定して綺麗になってきたという証ではないかと思えます。生態調査では、今まで絶滅種で10何年以上千葉県内では見受けられなかったというスッポンの生態と様態を孵化後2ヶ月ぐらいの小さいものと、大きくなると40cmぐらいのものを捕獲して確認しております。おそらくペットや飲食店が飼っていたスッポンが逃げて繁殖したものか、または元来そこに住みついているスッポンが繁殖しているものか、見極めはつけられませんが、いるというのが分かったので、それだけ環境が戻ってきたということです。

絶滅危惧種は、いずれも市や県の生態調査で比較してですが、魚類で3種類、昆虫で2種類、水生植物で1種類が確認されています。ここでつくづく思うことは、県や市は業者に委託し、業者はお金を貰って一日で網を打ったり、底をさらったりして見つかるものだけを列挙しています。一日で見つかるわけがありません。その費用を我々に託してくれたら、凄いなもの探すことが出来ると思っています。

流域の中学校や町内会とタイアップして、年に数回、河川敷や遊歩道の合同清掃を県の職員を引っ張りだして11月の一番寒くなった時を狙って行っています、何故かというと、水が澄んで綺麗に見えて、ゴミが何処にあるか直ぐにわかるのです。温かい時は、水が濁っていてゴミが何処にあるか分かりません。皆が川の中で動き回ると全然見えなくなるのです。だから、寒くてブルブル震える時期に長靴を履いてやるのです。

今、お話ししたように腰まで入って処理の出来るものは全部拾い上げてしまったのですが、それより深い所は何があるかも分からないし、どうしようもありません。我々の会には、クレーン車があって上がるものを上げているのですが、それは見えるところだけなのです。我々のテリトリーの中では、20%ぐらいしか処理が出来ていなくて

大半は水の底に沈んだままという状態だと思います。これを何とかしたいのですが、我々も潜ってまでやる元氣ありません。本当は役所が浚渫道具を持ってきて掻いてくれると良いのですが、それは川を壊すという心配もあります。行政と話を合わせながら、上手く力を借りて、上手くお金を引っ張ってあげたらと思います。

環境整備のために川に入って、石を入れ段差を作ることを「落差堰」というのですが、これを作っている矢先から小魚が寄ってくるのです。そして驚いたことに、モクズガニといって上海カニと同じ仲間、大きさは甲羅が手の拳ほどで足を伸ばすと20cmぐらいのものなのですが、そういうところに住みついたり、40~50センチぐらいのウナギがニョロっと出てきたりして、それだけの効果がでて水面に現れるのです。また、上流部と下流部でも僅か1mの堰を作っただけで、上流と下流では水の色が全然違われ、酸素の量も違います。ですから、我々がちょっと手を加えるだけで、川は立派に蘇ってくるのです。コンクリートで底を作ったり、土手を作ったりしても流れは良くなりますが、川は綺麗にはなりません。川本来は蛇行してその間に色々な仕事をしているのです。我々人間に金で換算してみると、川はとてつもない仕事をしています。無駄な税金使うのなら川に給料を払いたいという思いです。

我々の会も順風満帆で来たわけではありません。今一番問題になっていることは資金です。何をやるにもお金がかかります。NPO法人にはなりませんが、事業をやっていくらか運営費を賄えれば良いなと思ひ、千葉市から草刈の委託事業を受けているのですが、やはり、計算通りには行きません。定期的に収入がある状態にすることが、まず目的の一つです。もう一つは、人員の確保です。あくまでもボランティア活動の延長なので、作業に出られなくても文句は言えません。

我々の会には40名おりますが、縮小してこじんまりしてやるのが良いか、それとも大々的に組織的に動くのが良いのかを検討して行きたいと思っています。私は、代表を務めて4年目になりますが、その前の副代表を入れると通算15年、個人的に動いて25年になり、私もそんなに若くはなくなりました。ですから、若い人に受け継いで



我々の意図とする目的に向かって邁進してもらえればと思っています。千葉市内の環境維持のために皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。(文責 原田 健)



### 第2253回例会

#### 懇親夜例会

日時⇒ 平成22年1月29日(金) 点鐘 18:00

会場⇒ オークラ千葉ホテル

### 第2254回例会

#### 第3分区B インターシティー・ミーティング

(2/5 を変更・全員登録)

日時⇒ 平成22年2月3日(水) 点鐘 14:00

会場⇒ 京葉銀行文化プラザ

